地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊が行く！

今月の担当は 幸田隊員です！

こんにちは、地域おこし協力隊の幸田です。

移動の制限、外出自粛、3密回避、、、いろいろ疲れますよね。暑くなってきたので僕はやめましたけど、ジョギングなどの軽い運動がストレス回避に良いそうですよ。

オンライン移住相談会

先日、MBC主催のオンライン移住相談会に枕崎市として参加してきました。Web会議システムを活用した鹿児島県単位での移住セミナーは今回が初めてで、県内の18市町村が参加し、移住に向けてのステップや補助制度、鹿児島県での暮らしにまつわるセミナーを行いました。

現在、新型コロナウイルスの影響により、さまざまな経済活動が停滞する中、県をまたいだ移動がなかなかできず、実際に現地に行ってその土地を体感してからというのが難しい状況なので、鹿児島県・枕崎市を知っていただく良い機会になったのではないかと思います。オンラインでの相談会は初めてだったこともあり、もっと工夫したら良かったなと思う点も多々あり、いろいろと気づきがありました。移住希望者のためのお試し住宅やまちの様子なども交えながら、実際に現地に行ったときと限りなく近い感覚を持ってもらうことが大切だと思いました。

また今回の移住相談会のようなオンラインによる取り組みは、そのほかの面でも活用していけそうなので、うまく使っていけたらと思います。

東京のふるさと回帰支援センターの移住相談員の方による、新型コロナウイルス感染拡大を機にUターンで地元に帰りたいという人からの相談が増えてきているそうです。きっかけはリモートワーク。今年の春以降、リモートワークへの移行が進み、都心部に住む必要性が薄れてきたからということです。場所にとらわれず働ける仕事が徐々に増え、勤務先から居住地を選択する従来の形から、どんな暮らしがしたいかということを第一に居住地を選ぶという形へシフトしていくだろうと思われます。ただ、それがそのまま地方への人口流入の動きに繋がるかと言われれば、必ずしもそうではなく、居住地としての地方の魅力を磨きつづけることが同時に必要だと思います。

コロナ禍でいろいろと生活が変わってしまいました。これはかなり長期的あるいは不可逆的な変化なのかもしれません。終息は見通せないですが、今後のために今できることを少しずつ進めていきたいです。

市長コラム vol.17

コロナとは長期戦。だからこそ、すぐにやるべきこと。

こんにちは。前田祝成です。

新型コロナウイルスの感染者が本市でも確認されました。1月16日に国内で初めての新型コロナウイルス感染症の感染者が確認されてから、我が国では25726名の感染者、988名の死亡者が確認されています（7月21日厚労省）。

この新しい感染症との戦いは、長期戦です。もちろん、今の段階で『安全宣言』を出せる自治体など、どこにもないのが現実です。長期戦ではありますが、このコロナウイルス感染症で、すぐにでも完治させなければならない症状があります。それは『分断』という症状です。感染した人と一部の感染していない人の間にある『分断』という症状です。これはすぐに完治させなければなりません。

私は、その特効薬は『寛容さ』だと思っています。感染してしまった人を温かく見守る気持ちが薬です。ある心理学の研究グループが行ったアンケートで、ウイルスに感染するのは自業自得だと答えた人の割合が、国別に見たときに圧倒的に日本が高い、という結果が出ていたのに驚きました。日本人は11・5％の人が自業自得だと答えたのに対して、中国では4.8％、イタリア2.5％、イギリス1.5％という結果です。

このコロナで確実にわかっていることは二つ。一つは、誰でも感染するリスクがある。もう一つは、感染しないためには予防するしかない。このことがわかっていれば、感染した人を差別しないし、自分自身の感染予防につとめるしかないわけです。一人一人が感染予防のための手洗い、マスク、3密を避けるなどの基本的な感染予防に取り組んで、この長い戦いに打ち勝っていきましょう。

枕崎（まく）×人（ひと）×仕事（しごと）　No.5

六葉煙火（ろくようえんか）／明和町

「枕崎×人×仕事」では、枕崎にあるさまざまな仕事と、その仕事に携わる人を紹介します。
今月は、花火製造会社「六葉煙火」を取材しました。

古閑（こが）　潔（きよし）さん（42）

県内に3カ所ある花火製造会社の一つである六葉煙火は、年間約2万5000個の花火を製造し、その花火は県内のイベントをはじめ、宮崎県や熊本県、そして、遠くは茨木県でも打ち上げられてきました。また、20年以上無償で市外の児童養護施設でも打ち上げを行っており、多くの人を喜ばせ、見る人に感動を与えてきました。「やっぱり、子ども、女性の花火を見た時の喜び方は違いますよね」と笑顔で話す六葉煙火代表取締役の古閑潔さん。大学を卒業後、六葉煙火で働き始め、「他人の飯を食わないと」と花火造りの本場である新潟県の花火製造会社で働きます。1年間の勉強期間を経て枕崎へ戻り、3年前から六葉煙火の代表取締役を務めています。

「良い花火を造ることよりも、安全が第一」と話す古閑さんは、事故につながる可能性のある手作業での打ち上げを止め、コンピューターを使った打ち上げに積極的に取り組んできました。音楽に合わせて花火を打ち上げる「ミュージック花火」など時代に合わせた新しい取り組みも行います。川辺の祇園祭りでミュージック花火を行った際には、開始1分前まで準備がかかり、ギリギリでの挑戦でしたが、見た人から「すごく良い花火だった」と言われたことが思い出に残っているそうです。そして、初めて枕崎で三尺玉花火を無事に打ち上げたことが一番印象に残っている仕事だったと話します。

現在のコロナ禍でイベントの中止が相次ぐ中、5月には「コロナ終息」を祈願して、本市で花火を打ち上げました。これをきっかけに、今までの大規模な花火大会から「お家で見る打ち上げ花火」という小規模の打ち上げ花火のスタイルを確立しつつある古閑さんは、「打ち上げることを止めたらどんどんなくなっていく文化なので、火種は残しておかないと」と、少しずつでも花火を打ち上げ続けたいと話します。

南溟館イベント情報

開 9:00～17:00
※入館は16:30まで
休 毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日
問 TEL72-9998

戦後復興75年のあゆみ～我がまちふるさと枕崎写真展

戦前から戦後とその激動の時代をたくましく生き抜いてきた枕崎の人々の軌跡を、貴重な写真と資料で展示します。

- **期間**　8月8日（土）～20日（木）
- **会場**　南溟館（第1展示場・市民ギャラリー）
- **観覧料**　無料

海老原喜之助と郷土の群像展

海老原喜之助没後50年を偲び、海老原をとりまく郷土の作家を中心に展示します。

- **期間**　8月22日（土）～9月22日（火）
- **会場**　南溟館（第1展示場・第2展示場）
- **観覧料**　無料

枕崎の歴史七不思議展～過去からの宝物～

本市の歴史文化行事を知ってもらうためにイメージ絵や写真、関連物品などを展示します。会期中はミニ講演会を開催します。

- **期間**　8月22日（土）～30日（日）
- **会場**　南溟館（研修室）
- **観覧料**　無料

【ミニ講演会】

- **期日**　8月22日（土）、23日（日）、29日（土）
- **時間**　午後1時30分～
- **定員**　それぞれ先着10名
- **講師**　牛山好治さん（市文化財保護審議会委員）
- **申込先**　090-6678-1700（牛山）

夏休み親子木工教室

木の温かさに触れ、創造の喜びを感じながら創作体験を実施します。

- **日時**　8月23日（日）　午前9時～正午
- **場所**　南溟館（パフォーマンス広場）
- **定員**　40名（保護者を含む）
- **参加料**　200円